



# 市長「若者が残れるように子育て支援を強化する」

大谷市議は、9月議会の一般質問で、学校給食の無償化について質問。椋野市長は「令和6年度の4月から実施する方向で準備をしている」と答弁しました。

高く、世帯の子どもの人数が3人4人という世帯もあるので、家庭の経済的負担の軽減のために公約にかかげた「すべての子ども、子育て世帯を支援する市の市政を示すもの」と答弁しました。

市長は来年4月から実施する理由について、「少しでも早くという思いもあったが、新規の事業は4月から実施とし、7月の災害対策を優先させた」と述べました。

無償化の費用は、これまで議会に出された1億8千万円



# 小中学校給食費 来年4月から無償化

椋野市長は、給食費無償化について「人口減少を止めることが重要。若い世代が残れる戻れる住みたい日田をつくるために、子育て支援の強化が重要」と述べ、「日田市は合計特殊出生率が県内でももつとも

また市長は「学校給食費の国負担による無償化について、九州市長会を通じて国に要望している」と答弁しました。

日本共産党市議団は、給食費無償化の取組を7年前から提案して、議会で8回も質問もし、市議選でも公約に掲げてきました。また市民や保護者と署名運動に取り組んできました。

# 花月川改修で仮橋も検討

大谷市議は①花月川河川改修の進捗状況と仮橋の検討状況②改修に伴う内水氾濫対策について質問しました。

## 河川改修と道路整備

用地協議の進捗状況は面積で68%。御幸橋、一新橋の掛替で交通量調査をイベント時など5回予定しており、天領祭りが残っている。交通量調査が終わって迂回路の検討をする。仮橋については「当初国は架けないということでしたが、地域の交通体系や豆田地区への影響、工事の進め方

## 内水氾濫防止対策

# 新しく雨水管理総合計画を作成し 吹上・丸山地区を重点対策地区に

など課題があり、今後仮橋の設置について検討することになった」と答弁しました。

## 内水氾濫対策

部長は「将来降雨量の増加を踏まえて、現在の計画に変わる新たな国の指針に基づく雨水管理総合計画を作成して

いる」と述べました。

また2点の項目で見直しており「1点は、これまでの一般対策地区と重点対策地区に加え、新たに整備優先地区を設定すること。2点は、排水対策の手法の選択で、配水能力増強対策で管路の整備、断面改修、バイパス管、ポンプ場の設置など。また排水流出抑制対策として雨水貯留施設、校庭や公園貯留などがあり、今後技術的課題について国、県とも協議する」と答弁しました。

